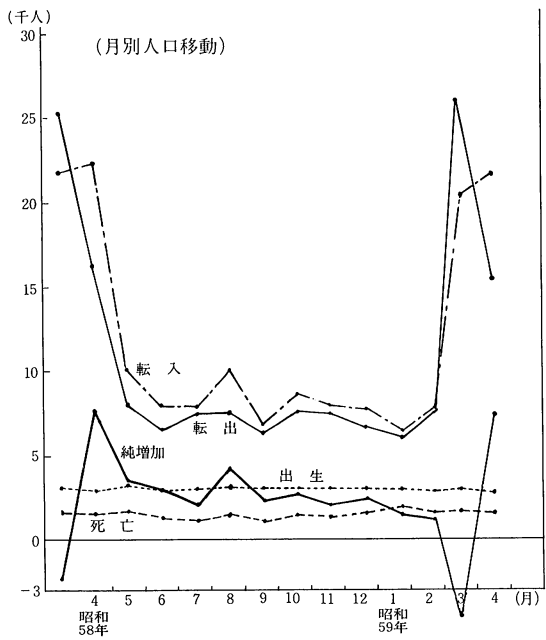


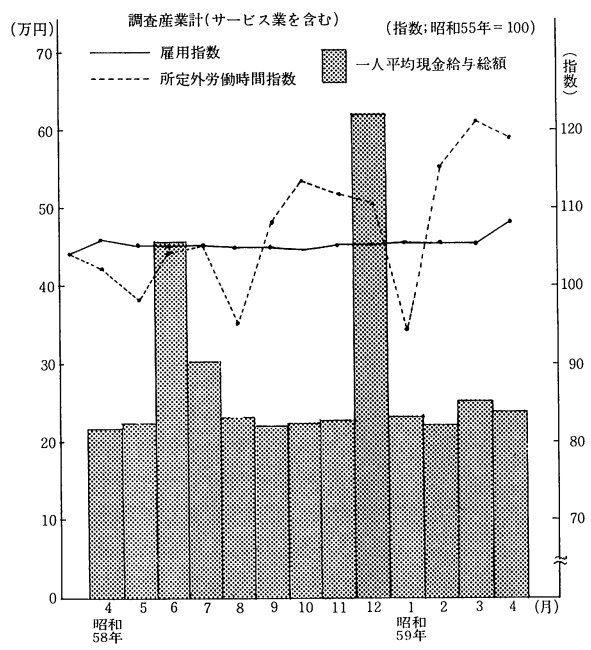
●今月の主な動き

# 今月の主な動き

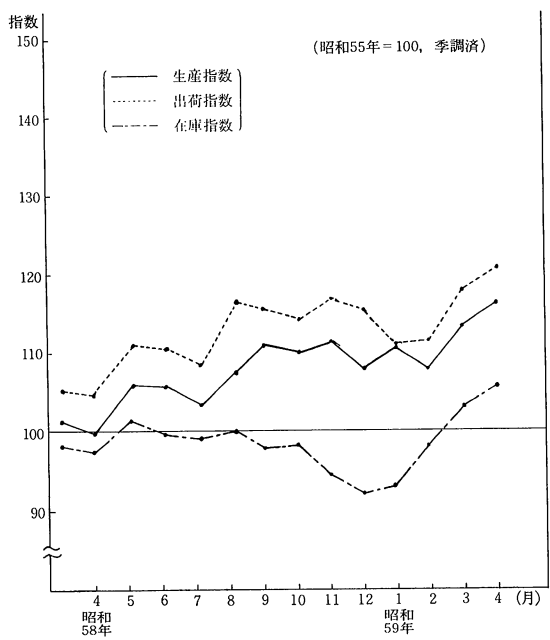
## 人口



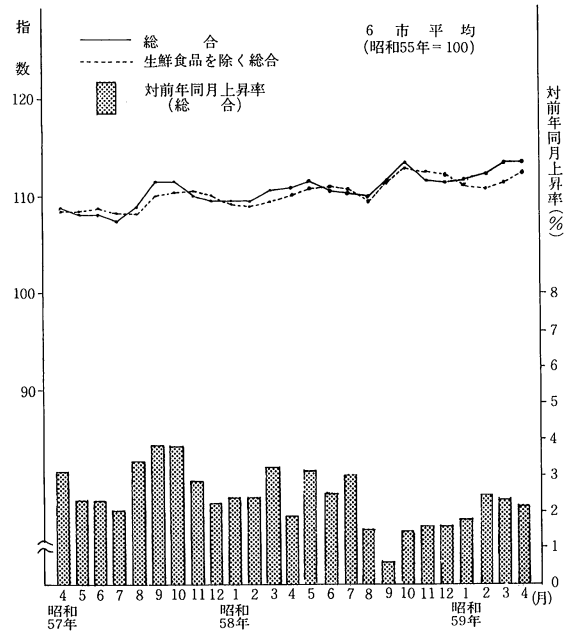
## 賃金・労働時間・雇用



## 鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



## 消費者物価指数



主な動きのあらまし …………… 企画部 統計課

■ 人 口 (5月1日)

本県の人口は、4月中に7,308人増加し、5月1日現在で2,677,732人になった。昨年5月1日と比較すると、27,388人(1.03%)の増加である。

内訳は、自然動態で1,184人(出生2,613,死亡1,429人)、社会動態で6,124人(転入21,531人,転出15,407人)、それぞれ増加した。

例年のとおり、転勤、学生の入学等の移動による転入増が目立ち、特に、県南地域で、県全体の増加の半数を超える4,326人が増加した。

市町村別では、増加が15市50町村で、減少が3市22町村、増減なしが2町村である。

世帯数は6,310世帯増加し、744,599世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (4月)

1. 平均賃金の推移

4月の常用労働者(「調査産業計」サービス業を含む)1人1ヵ月平均現金給与総額は226,900円で前月に比べ6.0%減(前年同月比7.7%増)であった。

このうちきまって支給する給与は220,072円で前月に比べ2.6%増(前年同月比5.1%増)であり、特別に支払われた給与は6,828円で前月に比べ20,346円減であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は186.9時間で、前月に比べ4.4%増(前年

同月比2.1%増)であった。

このうち所定内労働時間数は168.6時間で、前月に比べ5.1%増(前年同月比0.8%増)であり、所定外労働時間数は18.3時間で、前月に比べ2.1%減(前年同月比16.6%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、107.4で、前月に比べ2.4ポイント増、前年同月に比べ1.5ポイント増であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (4月)

昭和59年4月の本県の「鉱工業指数」(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が115.8、出荷が121.0、在庫が105.3で、前月比は、生産が3.3%上昇、出荷が3.0%上昇、在庫が2.3%上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が14.1%、出荷が13.8%、在庫が6.2%の上昇であった。

生産を業種別にみると、非鉄金属、石油・石炭製品、電気機械等が上昇し、鉱業、金属製品等が低下した。

出荷を業種別にみると、電気機械、石油・石炭製品、非

鉄金属等が上昇し、鉱業、食料品・たばこ等が低下した。

在庫を業種別にみると、鉱業、食料品・たばこ、一般機械等が上昇し、輸送機械、石油・石炭製品等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、耐久消費財、鉱工業用生産財等が上昇し、建設財、資本財等が低下した。出荷では、耐久消費財、その他用生産財等が上昇し、非耐久消費財、資本財等が低下した。在庫では、非耐久消費財、資本財等が上昇し、その他用生産財が低下した。

■ 消費者物価指数 (4月)

昭和59年4月の茨城県消費者物価指数は、総合指数で113.4(昭和55年=100)となり、前月比(+ )0.1%の上昇、対前年同月比(+ )2.3%の上昇となった。

今月上がった主な項目……補習教育(+ )7.5%、授業料等(+ )4.7%、その他(+ )3.2%、魚介類(+ )2.9%

今月下がった主な項目……野菜・海草(- )6.7%、乳卵類(- )1.7%

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	113.4	0.1	2.3	保健医療	108.5	0.1	2.8
食 料	116.1	△0.7	3.5	交通通信	106.5	△0.1	△1.3
住 居	112.4	△0.4	1.2	教 育	134.1	5.0	5.3
光熱・水道	108.4	0.0	△1.0	教養娯楽	114.5	△0.3	1.8
家具・家事用品	104.9	0.2	0.5	諸 雑 費	112.6	0.2	4.0
被服及び履き物	109.8	1.4	3.3	生鮮食品を除く総合	112.3	0.4	1.8